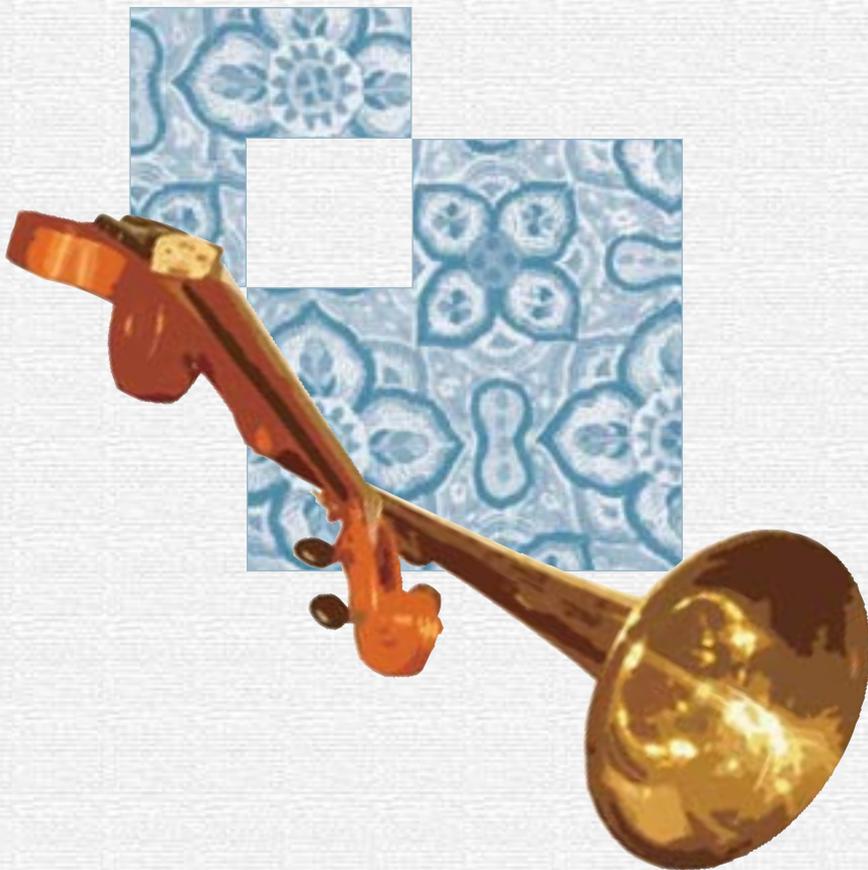


# THE RECORD

2005.10 No.551

- **コンテンツ・ビジネスを考える**  
未来を担う学生たちの視点
- **2005年度CDレンタル店実態調査**  
全国3,254店の訪店調査レポート
- **今月の数字：**  
2005年上期オーディオディスクレコードの輸出入状況



社団法人 日本レコード協会

**RIA**  
Recording Industry Association of Japan

## コンテンツ ビジネス を考える

### 未来を担う学生たちの視点

今回の特集では、未来を担う若い世代の人たちが著作権をどう意識し、音楽を含むコンテンツビジネスをどうとらえているかということに焦点をあてました。

そこで、当協会による早稲田大学寄付講座「コンテンツ・ビジネスと著作権」\*の、昨年度および今年度受講生による座談会で、受講の動機から著作権やコンテンツビジネスをどう考えるかまで多彩に語ってもらいました。受講生の意識調査の結果と併せてご紹介します。また、同講座を担当されている早稲田大学大学院法務研究科の高林教授からもコメントをいただきました。

\*日本政府の策定した知的財産推進計画のなかで、重要な役割を担うコンテンツビジネスの実務を中心とした講義を通じて、著作権の重要性を理解してもらうことを目指したもの。1年間の授業のうち、前期は著作権制度の概要と音楽コンテンツビジネスに焦点をあて、後期にはコンテンツビジネス全般にわたる講義を実施。各分野の第一線で活躍するさまざまな方々を中心としたユニークな講義が特徴。なお、講座の具体的な内容は、4月号10頁をご参照ください。

#### 座談会：

日本レコード協会寄付講座

## 「コンテンツ・ビジネスと著作権」を受講して考えたこと

### 今年度受講生 × 昨年度受講生

政治経済学部政治学科4年

足立真吾さん (写真中央右)

法学部4年

片山留偉さん (写真中央左)

第一文学部総合人文学科1年

内山仁志さん (写真右)

政治経済学部政治学科4年

渡辺哲也さん (写真左)



## Contents

### Special Feature

コンテンツビジネスを考える

未来を担う学生たちの視点 ..... 1

2005年度CDレンタル店実態調査 ..... 6

Topics & Information ..... 9

RIAJ Essay:「大学公開講座」に参画して ..... 11

Monthly Production Report ..... 12

今月の数字：

2005年上期オーディオディスクレコードの輸出入状況 ..... 13

Gold Album+...認定 ..... 14

#### 表紙の楽器

### フォノフィドル

ヴァイオリンにホーンをつけ、蓄音器の原理を用いて音量を大きくするとともに、音に指向性を持たせた楽器。レコードが発明された頃から1920年代初頭まで、オーケストラの録音に使われた。日本ではコルネットヴァイオリンと呼ばれ、独特な哀愁を帯びた音色から、歌謡曲の録音にも用いられたという。この系統の楽器としては1899年ドイツのシュトロホフが発明し、息子のストローが英国で商品化したストローヴァイオリンが有名である。

## → コンテンツビジネスの印象は「形がなくとらえにくい」

— はじめに講座を受講した動機をお聞かせください。

**足立:** 僕の場合は、映画への興味からです。ある時、古い洋画DVDが500円で売られているのを見てびっくりしました。一方、日本の名画は今でも高価です。この違いは何だろうと思い、調べてみると著作権に関係があることがわかりました。それがきっかけです。

**内山:** 僕はミュージシャンを目指していることが大きな理由で、ものづくりの立場からも著作権を学ぶことは必要だと感じました。また、音楽だけではなくコンテンツビジネスという幅広い観点から1年間みっちり学べること、現場で活躍されている方の話を聴けることも魅力的でしたね。

**片山:** 僕は法学部ですが、難しい理論を学ぶことが多かったんです。もっと具体的な現場も知りたくて。僕自身、音楽が好きで興味をそそられたところもあります。

**渡辺:** 昨年、違法コピー、海賊版、CD売上の低迷など音楽産業のさまざまな問題がメディアで騒がれていました。ちょうど、これらの問題に関わる授業があるということで、軽い気持ちで取りました。

— コンテンツビジネスにはどういった印象を抱いていたのでしょうか？

**足立:** 書面での契約がしっかりしていなくて、口約束でものごとが動く世界。そういうイメージがありました。

**内山:** 足立さんがおっしゃった意味はよくわかります。いわゆるギョーカイと書かれるようなエンターテインメントの分野というか。イメージを追うだけに、あいまいさが出てくるのはしょうがないのかも知れませんが。イメージをつくる人とそれをコントロールする人のバランスが重要な世界ではないでしょうか。

**片山:** 音楽や映像に限らず誰が創ったのか、どういうルートで世の中に広がり、誰に利益が出るのか、不透明な部分が多いビジネスで、知識のない人にはとっつきにくい。そういう印象です。

**渡辺:** コンテンツと言われても正直ピンと来なくて、それって何？という疑問が常にありました。でもよく考えてみると本当は簡単で、手に触れられない、眼や耳から入ってくるものがコンテンツなんですよ。

## → 講座で知ったコンテンツビジネスの複雑さ、面白さ

— 講座で印象に残っていること、面白かったことを聞かせていただけませんか？  
最初に昨年1年間通して聴講したおふたりに伺います。

**渡辺:** オムニバス形式の講義で、一番面白かったのは立場が違えば、意見も全く違うこと。たとえば政府寄りの方は、現状のコンテンツビジネスの仕組みは整備されていないのでたださなければと強調される。でも現場の方は、積み重ねてきたやり方が日本のコンテンツビジネスの特徴だと語る。それを知ることができました。

**片山:** 僕が高校生の時には、コンピュータに強い人たちの間で違法なファイルのダウンロードが流行していました。今告白しますと、僕自身、罪悪感なく友人同士でファイルを貸し借りすることもありました。この講座で、現場の人がものすごい不利益を被る、迷惑をかけていることがわかり、一人ひとりでは微々たる金額でも、そういう意識の人が集まると、経済に大きな影響を与えることをまざまざと実感しました。

余談ですが、僕の場合、質問した人にTシャツをプレゼントとするという授業があって、その時にがぜんやる気が出て…(笑) いちばん一生懸命授業を聞いたんじゃないかな。うまくTシャツをもらうことができました。こんな授業は他ではあり得ないですし、率直に面白かったですね。

### 108人の声

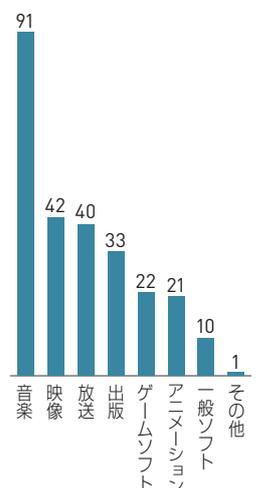
前期終了前に実施した今年度受講生へのアンケートに、他大学も含めたさまざまな学部・学年の合計108名の方々より、ご回答いただきました。集計結果の一部を抜粋してご紹介します。

#### 他を凌駕する音楽コンテンツビジネスへの興味

「コンテンツビジネスのなかで興味のある分野は？」(複数回答あり)という設問に対しては、8割以上の人があげた「音楽」が他を圧倒しました。

また「音楽が一番身近にある(法学部4年・男性)」「音楽は人の生活に欠かさない分野だから(教育学部2年・女性)」「音楽が好きだから(第一文学部1年・女性)」など、日常的に身近で親しんでいることを興味のある理由に掲げる人が多く見られました。音楽に限らず、映像や出版、ゲーム、アニメーションなどについても同様の傾向があります。一方で数は多くありませんが、日本のゲームやアニメーションが世界的に高い評価を得て人気があることを理由に同分野を推した人たちも目立ちました。変わったところでは「音楽配信が卒論のテーマだから(商学部4年・女性)」という理由もありました。

コンテンツビジネスで興味ある分野(人)



**渡辺:** また、キャラクタービジネスが強いという日本のコンテンツ産業の特徴みたいなものをつかめたことも大きかったですね。ポケモンで2兆円規模のビジネスだと聞き、正直驚きました。映画や音楽より、1匹のピカチュウが膨大な売上をあげていることに、新鮮な感動がありました。

— 今年のおふたりはいかがですか？

**足立:** 印象に残ったのは、歴史的に貴重な音源を聴けたこと。それと、渡辺さんが語ってくださったように、立場が違えば意見も違うことが面白いと思いました。レコード会社とプロダクションでも違うんですね。

**内山:** 僕は、やはり現役ミュージシャンの方の話が印象的でした。いろいろな立場の方々の異なる意見が出るなかで、原点に立ち返り、そもそも著作権とは何か、私たちとしてあるのかを、純粋な音を通じて掘り下げていくところが、すごいと思いました。

➔ **音楽コンテンツビジネスへの期待**

— 音楽コンテンツビジネスに期待したいことはありますか？

**足立:** 日本は音楽カタログ数が世界一だと聞きましたが、ひとりのユーザーとして、カタログ数をただ増やすのではなく、出したものがしっかり消費者に届くようにしてほしいと思っています。

**内山:** 私も、足立さんと似ています。今、僕らの同世代を見ると、新しいカタログやコンテンツしか耳に入らない、耳に入れようとしない、という傾向があるように思います。僕の反省点でもあるのですが。アナログからCDへ移行して今後は音楽配信へという流れがあるなかで、過去の名盤は貴重な財産ですから、もし配信へ移行するなら、きちんとカバーしてほしいですね。受け手は素晴らしい音楽を聴くことができ、そこから新しいアーティストも育っていく。業界志望者のひとりとしてそう考えています。

**足立:** 店頭現場では、店員さんイチ押しの旧譜が並んでいます。音楽配信でも、同様にただラインアップするだけじゃなくて、ユーザーに旧譜が届くように、流通の仕組みも工夫した方がいいと思います。

**片山:** 違法アップロードをいかに取り締まるかが、講座のテーマだと思うのですが、違法アップロードを逆手に取ってPR効果というか、プロモーションに利用できないかと、ずっと考えていました。残念ながら具体的なアイデアを持ち合わせてませんけど。法律家の言うことじゃないですね。(笑)

**渡辺:** 僕は、日中間の知的財産権を研究テーマにしていますが、その観点から、アジアの音楽市場を掘り起こしたら面白いと思っています。日本では音楽市場が縮小し、少子化もあって業界全体が縮小していくとも言われています。だったら世界に出ればいい。現状ではアジアの友人に話を聞いてみると、J-POPをあまり聴かずに欧米や韓国の方へ流れている。ちょっと寂しかったですね。今は難しくても将来、アジア音楽市場みたいな大きなマーケットができて、そのトップテンに各国のアーティストが入るという状況が生まれるといいのですが。

**足立:** 音楽ビジネス専門の教育機関が少ないことが問題だと思います。J-POPがなかなか海外へ出ていけないのは、音楽ビジネスを専門的に身につけた人材が足りないからという話も聞きますし、教育に力を入れることが音楽業界に必要なのでしょうか。

➔ **著作権はもっともっと知られるべき**

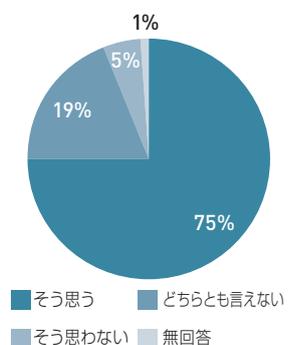
— 著作権についてはいかがですか？

**片山:** 僕も音楽をつくっていますが、それは趣味の範囲で、生活の糧にしているわけではない。誰かに聴かれて使われようが、自分の音楽が広まって嬉しいな、という程度です。でもビジネスとしての音楽は違います。音楽で飯を食わなきゃならないという立場になれば、著作権は非常に

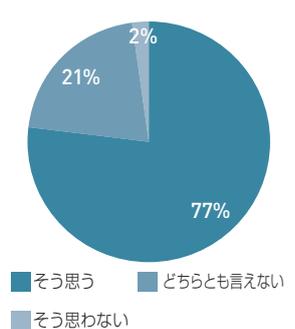
**コンテンツビジネスのイメージ**

受講生がコンテンツビジネスに対して抱くイメージについて聞いてみると、ほぼ4分の3の人たちがコンテンツビジネスには将来性・国際性があると評価する一方、半数以上が仕組み・制度はしっかりしていないと考えています。この結果から、コンテンツビジネスがまだまだ成長途上で、これからさまざまな変化が起こり得る産業として意識されていると見なすことができます。

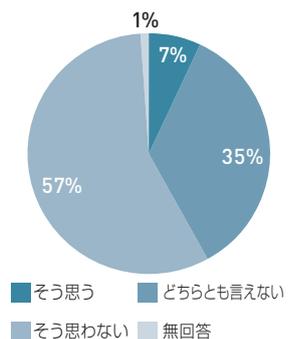
将来性がある



国際性がある



仕組み・制度がしっかりしている



重要なものになる。けれども、音楽をきちんと学んでいる人や演奏している人でも、著作権について勉強しているようには思えません。これからもっと知られて発展していく余地のある権利で、若い人もっと早いうちから知らなきゃならないと思います。人のつくったものを気軽に使うとリスクのあることを知ることが大事ですが、なかなか勉強する機会がない。そういう機会を増やすべきでしょう。

**内山：**コンテンツをつくる方も使う方も、著作権の内容や仕組みを知らないケースが多いんじゃないでしょうか。著作権は自然発生が原則ですが、意外と「JASRACに登録してないから無断で使ってもいいんじゃないでしょうか？」という理解のズレがある。一方で創る方も、聴いて欲しいから、それを助長するような行動になってしまう。守る観点からはおかしいことなのに。

**渡辺：**極論すると、使う立場はどんどん無料で使いたい。つくる側は、しっかり守ってお金にしたい。そうしないと食べていけない。そこが内山さんのおっしゃった矛盾の発生するところだと思います。どんなに厳しい法律で規制しても、最後は使う側のモラルの問題になる。たとえば音楽なら最終的に音楽を愛するという共通の意識で、聴く側、つくる側の両方が歩み寄ることが大事だと考えています。

**足立：**ユーザー、コンテンツクリエイターだけではなく、産業界という立場もありますね。現状では、産業界に有利で、過度に守られすぎているという印象もあります。保護期間の死後50年を70年にしようという動きもありますが、それは文化の発展に寄与するという面ではマイナスに働くと思います。

僕としては、アジアで友好的な明るい未来を築いていけたらと思っています。その部分でもコンテンツビジネスはすごく可能性のある面白い分野で、できることなら関わっていききたいですね。アジアを一つに結ぶような活動に貢献したいと考えています。

**片山：**僕の場合は、コンテンツビジネスの分野に進むことは考えていませんが、将来的に、著作権やコンテンツビジネスに関わるケースが必ず出てくると思っています。それだけ著作権やコンテンツビジネスは大きな広がりを持っている。講座で学んだことを糧にしていきます。

**内山：**クリエイターする立場で音楽に関わるという希望を持っていますが、なぜそう思ったかということと最初にリスナーだったから。その視点を大切にしていきたいと思っています。

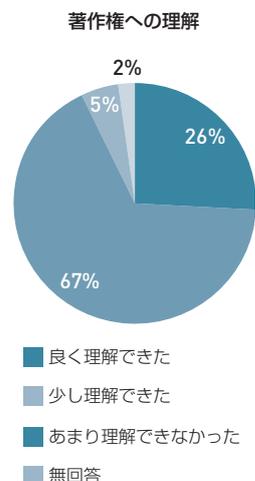
**足立：**僕はコンテンツビジネス全般に関わりたい。邦画が好きなので、できればそれを世界に広めるビジネスに関わってほしいと思います。クリエイターのサポーターとして多様な業務に携わりたいですね。

**渡辺：**インターネットなどの普及で、コンテンツビジネスを個人でやる時代が来る可能性があると思います。もしかしたら、レコード会社がなくなる時代が来るかも知れません。だからこそ今、レコード会社、業界の方にリクエストするなら、息長く活動するアーティストを育てていただきたい。自分でやる人、レコード会社で活動する人、いろいろなかたちで音楽を実践する人が街にあふれる。そういう世界が来てほしいなと思います。

### かなり高い著作権への理解

講座を受講して著作権への理解が深まったかどうかを伺いましたが、26%の方々が「よく理解できた」、また67%の方々「少し理解できた」と回答するなど、かなりの学生が理解しているという感触が得られました。また受講前後での著作権への考え方の変化については、以下のような意見が見られました。

「思っていた以上にあやふやな制度と感じた(政治経済学部4年・男性)」「利用する側から“邪魔なもの”と見ていた意識が変わり、アーティストの権利保護の大切さを認識した(法学部4年・男性)」「想像以上に“複雑”だった(教育学部3年・男性)」「生活に大きく関わる問題なのに教育を受けていないことがショック。教育の場が必要と感じた(他大学英語英文学科3年・女性)」



## → コンテンツビジネスにどう関わるか

— コンテンツビジネスにこれからどういうかたちで、関わっていかうとお考えですか？

**渡辺：**アジアの国は反日だとか、中国で商標を盗まれたとか暗いニュースが多い。でも



「コンテンツ・ビジネスと著作権」講座を担当する高林先生からメッセージをいただきました。



早稲田大学大学院法務研究科  
教授 高林 龍氏

プロフィール:

裁判官を17年間務め、知的財産権訴訟を中心に数多くの紛争案件に携わる。1996年より現職。知的財産権法の研究・指導にあたる。主な研究領域は特許法。政府の知的財産戦略本部の専門委員も兼任する。

## 「現場を知り、自ら考える」ことを学んでほしい。

「コンテンツ・ビジネスと著作権」講座では、音楽産業をはじめコンテンツビジネス各分野で活躍される多彩なゲスト講師を招いて、現場の実践活動を講義していただく期間を長く設けました。もちろん、著作権法の専門知識はきちりと押さえていきますが、大学へ来て座学ばかりでは面白くありません。現場でどういった問題が起きて、実務に携わる人がどのように悩み、どういった解決策を模索しているのかを、生き生きと実感できるように配慮しました。こういうオムニバス形式の授業で、1年間興味を持続させられるかどうか、最初は心配もありました。しかしゲスト講師が各界で超一流の方々ばかりということも手伝ってか、多くの学生が集まり、興味を持って熱心に参加しています。講義後の質疑応答も非常に活発です。1年間の講座の終わりには、弁護士を交えて実際の紛争事例についてパネルディスカッションを行い、考えを発展させていく機会も設けるなど、学生の興味を惹きながら教育として深みを出すことを追求してきました。この分野では他に類を見ない内容の充実した

講座になってきたと、ある程度手ごたえを感じています。

学生の皆さんには、現場の話を聞いて、単に知的好奇心を満足させるのではなく、問題点を明らかにして、自分なりに解決策を考えていく姿勢を身につけてもらいたいと考えています。コンテンツビジネスを志望する人もいるでしょうから、「自分は専門知識を持っている」というだけではなく、「何が問題で自分はどう動くべきか」を常に考えられる、各界で実際に役に立つ人材になってほしいという願いもあります。コンテンツビジネスは今、脚光を浴びており、政府も力を入れて後押ししています。私は、このような時期にきちんと基盤整備を図っていくことが、コンテンツビジネス発展には不可欠だと考えています。そういう意味からも、これからを担う学生やオープン教育センターに学びに来る社会人の方々に直接働きかけ、実務の現場で活躍する方々と接点を設ける当講座の役割も重要だと認識しています。これからもいろいろと工夫していく考えです。

### 講座を通して気づいたこと、触発されたこと

コンテンツビジネスの魅力や面白さとして、音楽と映像の融合など多彩な表現方法をとれることやカバーする分野の幅広さ、グローバルさなど、柔軟で広がりのあることが強調されていました。

また興味を抱いたテーマや問題としては、「著作権に対する実演側と企業側のとらえ方の違い（スポーツ科学部1年・女性）」「アーティストのマネジメント（法学部・男性）」「著作権と著作権隣接権とコンテンツビジネスの関係（政治経済学部2年・男性）」「中国の海賊版問題（第一文学部2年・女性）」「インターネットとの共存（理工学部2年・男性）」などがあがっていました。

### コンテンツビジネスの課題

コンテンツビジネス 全般としては著作権侵害への対応、音楽コンテンツビジネスについては配信ビジネスや国際化への対応が課題としてあげられていました。また、「出版不況。IT化による活字離れ（政治経済学部4年・男性）」「競争の加熱による業界企業同士の共倒れ（政治経済学部2年・男性）」「映像コンテンツの二次利用（教育学部3年・男性）」「アニメーション業界など制作者たちの労働条件の改善（社会科学部4年・女性）」といった多様な問題への関心も見られました。

2年目を迎えた本講座は、1年間を通して音楽と多様なコンテンツビジネスに関する実務やコンテンツと関係の深い分野についての最新の状況を知ることができるとして、受講生の皆さんから高い関心が寄せられています。

全学部全学年の400名を超える受講生の皆さんにとって、後期の授業も意義深いものとなることを望んでいます。

# 2005年度CDレンタル店実態調査

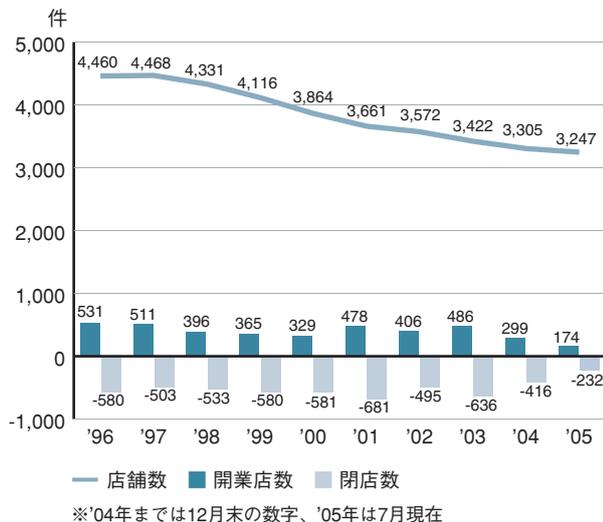
当協会では、全国のCDレンタル店の実態を把握するために、毎年全店調査を実施しています。22回目となる2005年も、4月から7月にかけて、当協会調査員による全国3,254店の訪店調査を行いました。その結果を報告いたします。

## ■ 店舗数2.9%減少

CDレンタル店舗数は、1989年末の6,213店をピークに毎年減少を続け、2005年7月末現在で3,247店と前年比2.9%減、89年対比で48%減となりました。

また、今年1月から7月までの間に、新規開業店は174店、閉店は232店と、406店が入れ替わっています。(図-1参照)

図-1：CDレンタル店舗数と開業・閉店の推移

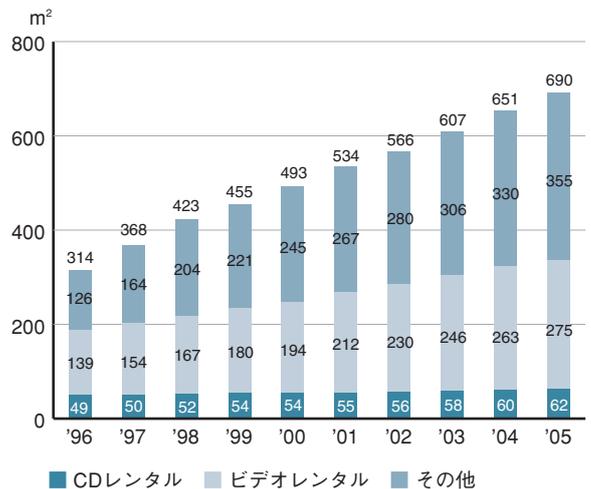


## ■ CDレンタル店の面積と兼業状況

店舗の大型化と複合化は今年も続いています。1店当りで見ると、店舗全体の面積(他の売場を含む)は690.3㎡で前年に比べて6.0%増、CDレンタルコーナーの面積61.6㎡は2.7%増(全店の総面積では横ばい)、DVDとビデオのレンタルコーナー面積275.2㎡は前年比4.7%増、新品・中古CD販売、書籍、ゲームソフトの販売などその他コーナーが355.1㎡で前年比7.6%増です。(図-2参照)

兼業の状況(複数回答による集計)を見ると、ビデオレンタルを兼業している店舗は全体の99.4%(前年99.3%)、中古CD販売96.8%(前年96.5%)、中古CD買取31.5%(前年30.7%)、書

図-2：店舗面積(1店舗平均)



籍販売51.4%(前年49.2%)、ゲームソフト販売50.2%(前年46.5%)、DVDレンタル99.3%(前年98.7%)となっています。また、コミックを含む書籍レンタルの兼業店は258店(全体の7.9%)です。

一方でCDレンタル専門店が10店(全体の0.3%)に減少し、また、AVレンタル専門店(CDとビデオ・DVDのレンタルのみ)も652店(全体の20.1%)まで減少しています。

## ■ CDレンタル店の在庫

レンタル用CDの総在庫数は97年をピークに減少傾向にありましたが、昨年より増加に転じ、今年もシングル・アルバムを合わせて33,559千枚と前年比4.7%増になっています。内訳を見ると、シングルは5,839千枚で9.0%減となっていますが、アルバムは27,720千枚と前年比8.1%増です。総在庫数はピーク時の97年対比で25.5%減、うちシングルは71.8%減、アルバムは14.1%増となっています。なお、シングル・アルバム比は17対83です。(図-3(a)参照)

また、1店舗当たりの平均在庫数で見ると、シングルは1,794枚と前年比6.3%減ですが、アルバム

は8,519枚と11.3%増となり、シングル・アルバムの合計在庫数は10,313枚で7.7%増となっています。(図-3(b)参照)

図-3(a) : 総在庫数

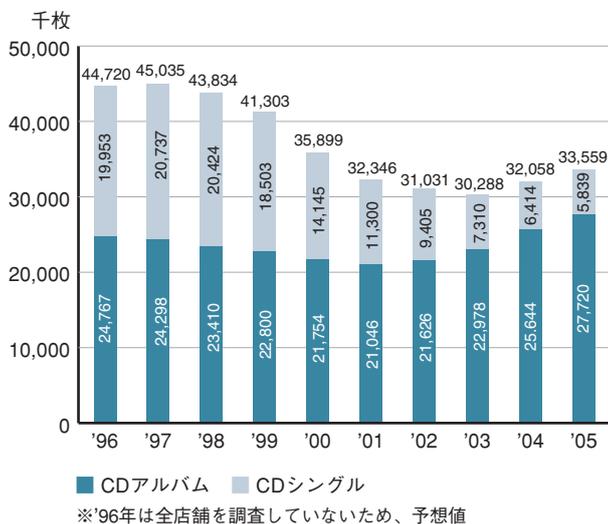
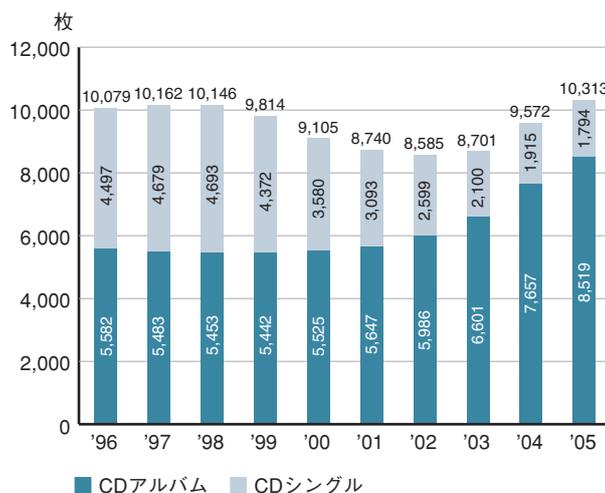


図-3(b) : 1店舗平均在庫数



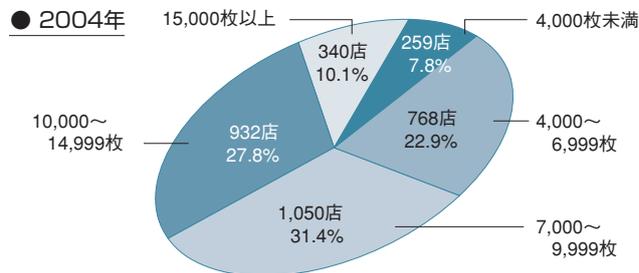
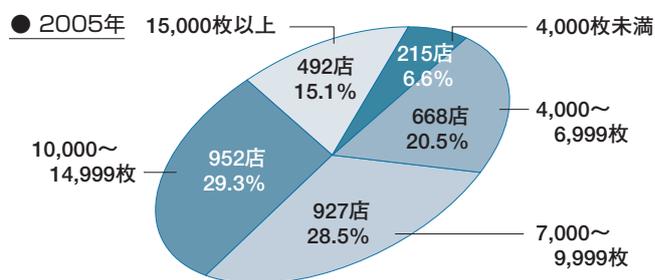
なお、CDの在庫規模による店舗数分布を見ると、小型店(4千枚未満)は前年比1.2ポイント減の6.6%、中型店(在庫数4千枚～1万枚未満)は5.3ポイント減の49.0%、大型店(1万枚～1万5千枚)は1.5ポイント増の29.3%、超大型店(1万5千枚以上)は5.0ポイント増の15.1%となっています。(図-3(c)参照)

ビデオレンタル兼業店のビデオテープの総在庫数はこれまで増加し続けてきましたが、今回の調査では65,924千本(前年比8.0%減)、1店当り

平均20,429本(前年比5.2%減)と、初めて減少しました。

一方、DVDレンタル兼業店のDVD総在庫数は28,432千枚、前年比114.9%増と倍増、また1店当り平均でも8,803枚、前年比110.0%増と倍増しています。調査を始めた2000年対比では、店舗数で2.2倍、総在庫数では53倍(1店舗当たりの平均在庫数で24倍)と、成長が続いています。なおビデオテープとDVDの総在庫比率は70対30(前年84対16)です。

図-3(c) : CD在庫規模別の店舗数分布状況



### まとめ

レンタルCD在庫数の増加や店舗面積の拡大、兼業率の増加など、数年来の傾向である大型複合化は今年も続いています。特にCDレンタルのアルバム在庫拡充、DVDレンタルの更なる伸長が顕著です。

音楽の楽しみ方の一つとして定着したCDレンタルですが、パソコンや携帯電話への音楽配信などレンタルに近似しているサービスが本格的にスタートし、取り巻く環境は大きく変わろうとしています。ユーザーの楽しみ方が多様化していく中で、CDレンタル業も大きな転換期を迎えていると言えます。

## 「第2回東京アジア・ミュージックマーケット」 開催のお知らせ

(財)音楽産業・文化振興財団(PROMIC)主催による「第2回東京アジア・ミュージックマーケット」(TAM)が、10月19～21日にかけて開催されます。その概要と入場方法をお知らせします。

なお、当協会は20日のセッション2のパネルディスカッションを提供します。



- 開催日程: 10月19日(水)～21日(金)(3日間)
- 会場: 代官山「UNIT&UNICE」(ユニット&ユナイス) <http://www.unit-tokyo.com>  
今年はカンファレンス、ライブが同じ会場で行われます。
- 内容:
  - オープニングWelcome Party  
10月19日(水) 20:00～
  - マーケティング・カンファレンス  
10月20日(木)  
セッション1 14:00～15:00 「中国音像協会代表者基調講演」(中国最新音楽状況)  
講演者: 劉国雄会長、王秘書長  
セッション2 15:15～17:45 RIAJパネルディスカッション  
「アジア各国との音楽文化交流・最新市場動向」  
(各国での主流音楽状況、各国でのJ-Popの位置づけ、今後の展開に向けての課題検証等)  
パネラー: Ms. Sunghee Shin(Sony BMG Korea)、Mr. Jim H. Yajima(AVT Hongkong)、Mr. Cheah Chee Kong(MTV Asia)、チャン・ヤートン氏(中国音楽プロデューサー)  
モデレーター: 関谷元子氏(音楽評論家)  
10月21日(金) 13:30～17:00 \*途中休憩あり  
セッション3 第一部「韓国音楽の海外進出のための戦略」(協力: KOCCA)  
講演者: 辛建錫氏(韓国文化観光部コンテンツ振興課書記官)  
第二部「韓国オンライン音楽市場の現状と展望」(協力: KOCCA)  
講演者: Mr. Han Suk Woo(韓国(株)アインスデジタル代表取締役)  
「アジアでのコンテンツ配信ビジネス最新事情と海賊版への対抗」(協力: MCF)  
講演者: 京セラコミュニケーションシステム(株)より  
第三部「中国ネット大ヒットの背景」  
「老鼠愛大米」を歌った、楊臣剛氏を招聘
  - ライブ: 3日間とも18:00開場 18:30開演  
中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、香港、マレーシア等から連日4組、計12組が出演します。  
各国で活躍する人気アーティストのパフォーマンスを一度にご覧いただけます。なお、アーティストプロフィール等は、ホームページをご覧ください。ライブのみ、一般のお客様も有料にてご覧いただけます。(人数制限があります。前売り券2,000円 当日券2,500円)
  - プレゼンテーション: 10月21日(金) 17:15～18:00  
各国からの「原盤プレゼンテーション・コーナー」を実施します。  
\*上記内容および日程は変更になる場合もあります。
- 入場方法: 関係者の皆様は、すべて無料にてご入場いただけます。ライブ、マーケティング・カンファレンス、Welcome Partyへのご入場は、TAM公式ホームページより事前登録をお願いします。(手続きは簡単です) 詳細はホームページをご覧ください。\*定員となり次第、締め切らせていただきます。
- 公式HP: <http://tamm.jp/>
- お問合せ先: (財)音楽産業・文化振興財団(PROMIC)「TAM事務局」  
〒107-0062 東京都港区南青山2-12-12  
TEL 03-6820-3800 FAX 03-3403-0423 Email: [info@promic.net](mailto:info@promic.net)

# Topics & Information

## 「レコードファン感謝祭2005 廃盤CD特別謝恩セール」開催のお知らせ

当協会加盟25社は、今年もインターネットを利用した通信販売による「レコードファン感謝祭2005 ～廃盤CD特別謝恩セール～」を下記の要領で開催致します。

今年で14年目を迎えるこの廃盤セールでは、音楽・レコードファンの皆様へ日頃の感謝の気持ちを込めて、当協会加盟各社のレコードが特別価格にて提供されます。



- 名称： 「レコードファン感謝祭2005  
～廃盤CD特別謝恩セール～」
- 開催日程： ●第1回  
2005年10月28日(金)15時～11月11日(金)15時  
10月12日(水)から告知サイトに事前の商品閲覧とユーザー登録ができます。商品のご注文は、10月28日(金)15時から開始します(先着順)。  
●第2回  
2006年1月27日(金)15時～2月10日(金)15時  
第1回目終了後2005年11月12日(土)から告知サイト開始、1月11日(水)から事前の商品閲覧とユーザー登録ができます。商品のご注文は、1月27日(金)15時から開始します(先着順)。
- 主催： 社団法人日本レコード協会加盟メーカー25社
- 協賛： 社団法人日本レコード協会
- 運営： 株式会社ジャパン ミュージック データ
- 出品： CD(8・12cm)、カセットテープ、アナログディスク、LD、DVD、ビデオカセット
- 販売価格： 廃盤：70%OFF(税込)  
※その他、輸入盤・時限再販期間経過商品の特価にて販売。
- URL： <http://fair.jmd.ne.jp>  
※詳細は、ホームページをご覧ください。
- お問い合わせ先： Eメール： [fair@jmd.ne.jp](mailto:fair@jmd.ne.jp)

## 小学生向け著作権啓発パンフレット完成

当協会はこのほど、小学生をターゲットとした著作権啓発パンフレット、「楽しく音楽を聴くために知っておこう。」を1万部作成しました。

これは、昨年度から今年度にかけての小学校へ出張授業や、学校教育関係者との情報交換等を通じて、「著作権の正しい理解の基礎は初等教育で培うことが大切で、そのために音楽CDができる過程を採り上げるのが最適である」との意見が多く寄せられたことを受けてのものです。

このパンフレットは、主に、学校の授業の中での活用を目的として作成され、児童も親しみやすい内容になっています。

今後、当協会のホームページや文化庁主催の学校関係者対象のセミナーなどを通じて紹介していくとともに、小学校へ出張授業や、関係団体の小学生対象イベントなどでも活用される予定です。



## CODA、香港での海賊版業者取り締まり成果を発表

8月18日、コンテンツ海外流通促進機構(CODA)は、今年3～4月の間に日本コンテンツの海賊版販売容疑で取り締まりを受けた香港の販売店管理者らに対し、香港の裁判所が4件の懲役判決を下したことを発表しました。

3月23日の取り締まりでは、100人以上の当局職員が、日本のアニメなど約20万枚の海賊版DVD等を押収、18人を逮捕しました。逮捕者の中には、日本人向け旅行ガイドに紹介される海賊版販売店の管理者も含まれていました。

また、4月13日の家宅捜索では、110人の当局職員によって日本コンテンツの海賊版2万3,100枚が押収され、被疑者9人が逮捕されました。

今年1～6月に、CODAの要請で計309件の摘発が行われ、邦画、アニメ、テレビドラマ、ゲームソフト、音楽の海賊版DVD・CDなど約98万枚が押収、計65人が逮捕されました。今後、これら逮捕者にも、判決が言い渡される予定です。

香港の海賊版対策は、海賊版複製機器 (DVD、CD) や海賊版ソフトの大量押収、海賊版販売店の半減など、目覚ましい成果をあげています。

## sarah、9月1日より広報キャンペーン開始



キャンペーンポスター

(社)私的録音補償金管理協会 (sarah) は、9月1日より、私的録音補償金制度の社会的認知を高めるための広報キャンペーンをスタートしました。

HDDやメモリーを使った新型の携帯録音機器の普及が進む中、文化審議会著作権分科会法制問題小委員会では、これらの新型携帯録音機器を私的録音補償金制度の対象とし、補償金を課金するかについて審議が行われています。それに伴い、各方面から改めて私的録音補償金制度が注目を浴びています。

このためsarahは広くユーザーや国民に私的録音補償金制度に対する理解を得るために、4月に広報委員会を設置し、「私的録音補償金制度広報キャンペーン」を実施することとしました。本キャンペーンは全国主要7都市の電車広告をメインに現在展開中です。(http://www.sarah.or.jp/)

## 不正商品対策協議会、広報啓発ポスター「Don't buy COPY GOODS.」を制作

不正商品対策協議会は、昨年に引き続き「知的財産権の保護と不正商品の排除」を目的とした広報・啓発ポスターを制作しました。

ファッション雑誌で活躍中のモデルをビジュアルに起用し、若い女性に向けておしゃれなイメージで、「偽ブランドや海賊版を購入しない」よう訴えかけるポスターに仕上がっています。

このポスターは、全国都道府県警察に配布され、9月1日より各警察署や交番など関係各所において、広く掲示されています。(http://www.aca.gr.jp/)



## 「A&Vフェスタ 2005」開催

9月21日～24日の4日間、パシフィコ横浜展示ホールで、「A&Vフェスタ 2005」が開催されました。

今年のAVフェスタは、ユーザーの関心や興味、見やすさ、体験のしやすさを考慮して会場が構成され、会場内の各エリアでは、立体音響をテーマとしたセミナーや著名人によるトークセッション、最新技術や製品のデモンストレーション、家族向け工作教室など、さまざまなイベントが催されました。

当協会からは、田辺攻専務理事がオープニングセレモニーに出席し、テープカットと挨拶を行いました。

## 当協会委員会運営体制の変更について

当協会は、協会事業に関する重要事項についての施策の検討、推進を目的として現在8つの委員会を設置していますが、委員会の一層の活性化と理事会、執行委員会との連携強化等を図るため、10月1日から以下のとおり運営体制を変更しました。

### 1. 主な変更点

- (1) 委員会を、協会の主要な4つの業務に対応し毎月開催される「常任委員会」と特定事項について集中的、専門的に検討する「特別委員会」に二分する。
- (2) 委員会の委員長は、理事から選出する。

### 2. 委員長

#### (1) 常任委員会

- ・法制委員会 石坂 敬一  
(ユニバーサル ミュージック(株)代表取締役社長)
- ・情報・技術委員会 廣瀬 禎彦  
(コロムビアミュージックエンタテインメント(株)代表執行役社長兼CEO)
- ・広報委員会 堂山 昌司  
(東芝EMI(株)代表取締役社長兼CEO)
- ・マーケティング委員会 澁谷 敏旦  
(ビクターエンタテインメント(株)代表取締役社長)

#### (2) 特別委員会

- ・二次使用料委員会 後藤 豊  
(株)フォーライフミュージックエンタテイメント代表取締役社長)
- ・レンタルレコード委員会 稲垣 博司  
(エイバックス・マーケティング・コミュニケーションズ(株)代表取締役会長)
- ・日本ゴールドディスク大賞委員会 飯田 久彦  
(株)テイチクエンタテインメント代表取締役会長)
- ・アジア音楽市場拡大委員会 榎本 和友  
(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント代表取締役社長)

## 会員社名変更および移転のお知らせ

プラティア・エンタテインメント(株)が9月5日付けで社名変更および社屋移転を行いました。新社名、移転先は下記の通りです。

■ 新社名：株式会社ミュージャー・コミュニケーションズ

■ 移転先：〒102-0083

東京都千代田区麹町3-1-1 麹町311ビル9F

■ TEL： 03-5275-6961

また、(株)BMGファンハウスが10月1日付けで社名を変更しました。新社名は下記の通りです。なお、住所・電話番号などの変更はありません。

■ 新社名：株式会社BMG JAPAN

## 当協会事務局人事

〈出向〉(社)私的録音補償金管理協会 小林 則夫

(10月1日付 前職：総務部部長代理)

## ● 2005年9月会議メモ

- 9・7 レンタルレコード委員会  
マーケティング委員会
- 9・9 レコード倫理審査会  
情報・技術委員会
- 9・13 法制委員会
- 9・15 日本ゴールドディスク大賞プロジェクト
- 9・16 広報委員会
- 9・21 アジア音楽市場拡大委員会
- 9・22 執行委員会
- 9・30 理事会

### ■■■ お詫びと訂正 ■■■

先月号9頁のTopics & Informationに掲載の写真の一部誤りがありました。謹んでお詫びするとともに訂正させていただきます。

正しくは、左から2番目の方がM.ハットフル英国臨時代理大使で、右から2番目の方がP.デゼルスキーHMV社長でした。

# RIAJ Essay

## ■ 「大学公開講座」に参画して

ビクターエンタテインメント株式会社 取締役 三田雅志

先日、某大学の「アミューズメント・レジャー産業論公開講座」の一環として、「音楽産業の推移とソフト人材」をテーマに講義の機会を得た。

大学近隣地域の「団塊世代中小企業経営者」の方々がスポンサーとなっている「寄付講座」で、学生のほか地域一般市民の方も受講可能な講座である。余暇の増加、少子高齢化、経済の成熟化などを背景に、音楽を含む「アミューズメント・レジャー産業」に対する関心が高まっており、新たな発展が期待できるとの想いで、これら産業への地域として参画促進と、人材育成をその趣旨としている。

さて、講義後の感想。当日の質問コーナーや感想レポートからみるに、「著作権啓発キャンペーン」の成果

は出ている、ただし細部の微妙な違法性についての認識についてはもう一步というところ。

「一曲、一枚のCDが出来るまでにこれだけの人とコストがかかっていたとは知らなかった」という現実を踏まえ、「創造のサイクル」の更なる理解促進のために、具体的な違法事例を示していくことが必要か。

あわせて、学内で「インディーズアーティストライヴ」実施や、今後小学生対象の「キッズ大学」などを計画しており、地域・大学がらみで音楽産業発展への取り組みが業界外でも活発になされている。これらに対する積極的な協力とその場を活用させていただく業界の対応を考えさせられた次第。

# Monthly Production Report

## 2005年8月度レコード生産実績

8月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比106%の2,640万枚・巻、金額で前年同月比98%の305億円となりました。このうち、オーディオレコードは、数量で前年同月比100%の2,285万枚・巻、金額では前年同月比93%の266億円となりました。また、音楽ビデオは、数量で前年同月比173%の354万枚・巻、金額で前年同月比160%の39億円となりました。

### ● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			8月実績						2005年(1月~8月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
シン	8cmCD	邦	121	1	18%	23	0	55%	1,181	1	11%	191	0	19%
		洋	17	0	86%	5	0	400%	162	0	11%	16	0	12%
		計	138	1	20%	28	0	65%	1,344	1	11%	207	0	18%
ン	12cmCD	邦	5,904	26	117%	4,823	18	117%	42,045	22	97%	32,584	15	98%
		洋	133	1	517%	77	0	334%	439	0	89%	322	0	80%
		計	6,036	26	119%	4,900	18	118%	42,484	23	96%	32,906	15	98%
ル	小計	邦	6,025	26	105%	4,846	18	116%	43,226	23	79%	32,775	15	96%
		洋	150	1	330%	82	0	338%	601	0	30%	338	0	63%
		計	6,174	27	107%	4,928	19	117%	43,828	23	78%	33,113	15	95%
12cmCD アルバム	邦	10,112	44	103%	14,618	55	105%	89,534	48	100%	123,086	56	94%	
	洋	6,016	26	94%	6,526	25	68%	48,615	26	104%	59,541	27	91%	
	計	16,128	71	100%	21,144	80	90%	138,149	74	101%	182,627	83	93%	
CD 合計	邦	16,137	71	104%	19,464	73	107%	132,760	71	92%	155,861	71	94%	
	洋	6,166	27	96%	6,608	25	69%	49,217	26	101%	59,879	27	91%	
	計	22,303	98	102%	26,073	98	94%	181,977	97	94%	215,740	98	93%	
アナログ ディスク	邦	13	0	62%	16	0	89%	138	0	24%	170	0	80%	
	洋	12	0	198%	25	0	387%	46	0	21%	76	0	47%	
	計	24	0	92%	41	0	166%	184	0	23%	246	0	66%	
カセット テープ	邦	509	2	58%	421	2	55%	4,901	3	77%	4,083	2	80%	
	洋	1	0	67%	0	0	26%	18	0	151%	16	0	165%	
	計	509	2	58%	421	2	55%	4,918	3	77%	4,099	2	80%	
その他	邦	6	0	49%	12	0	111%	182	0	113%	254	0	137%	
	洋	12	0	49%	23	0	59%	143	0	77%	281	0	78%	
	計	18	0	49%	36	0	71%	325	0	93%	535	0	98%	
合計	邦	16,664	73	101%	19,914	75	105%	137,981	74	91%	160,368	73	94%	
	洋	6,190	27	96%	6,657	25	69%	49,424	26	101%	60,252	27	90%	
	計	22,854	100	100%	26,571	100	93%	187,405	100	94%	220,619	100	93%	

### ● 音楽ビデオ

			8月実績						2005年(1月~8月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	3,174	90	180%	3,222	82	172%	19,165	84	124%	25,428	81	104%	
	洋	299	8	139%	603	15	127%	2,995	13	103%	4,913	16	86%	
	計	3,473	98	176%	3,824	98	163%	22,160	97	120%	30,341	97	100%	
テープ・LDその他			68	2	92%	90	2	90%	582	3	71%	931	3	63%
合計	邦	3,242	92	177%	3,309	85	168%	19,744	87	121%	26,349	84	101%	
	洋	300	8	138%	605	15	127%	2,998	13	102%	4,924	16	85%	
	計	3,541	100	173%	3,914	100	160%	22,742	100	118%	31,272	100	98%	

### ● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

			8月実績						2005年(1月~8月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ			22,854	87	100%	26,571	87	93%	187,405	89	94%	220,619	88	93%
音楽ビデオ			3,541	13	173%	3,914	13	160%	22,742	11	118%	31,272	12	98%
合計			26,395	100	106%	30,485	100	98%	210,147	100	96%	251,892	100	94%

### ● ビデオ(含音楽ビデオ)

			8月実績						2005年(1月~8月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD			10,683	98	107%	12,391	95	98%	79,199	97	94%	107,784	94	99%
テープ・LDその他			243	2	44%	616	5	32%	2,295	3	47%	6,773	6	39%
合計			10,926	100	104%	13,007	100	89%	81,493	100	91%	114,556	100	91%

### ● オーディオ/ビデオ合計

			8月実績						2005年(1月~8月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ			22,854	68	100%	26,571	67	93%	187,405	70	94%	220,619	66	93%
ビデオ			10,926	32	104%	13,007	33	89%	81,493	30	91%	114,556	34	91%
合計			33,780	100	101%	39,578	100	92%	268,898	100	93%	335,176	100	92%

備考 1. 上記実績は、会員会社「41社」の集計である。当会員会社が受託した非会員会社からの販売委託分を含む。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。  
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

## 2005年上期オーディオディスクレコードの輸出入状況

2005年上期(1~6月)に輸入されたCDは、数量が2,483万枚、金額は107億円、輸出は数量が91万枚、金額は11億円と、輸出入ともに前年より減少しました。

### ●上期(1~6月)オーディオディスクレコード輸出入実績の推移

西暦	輸 出				輸 入			
	枚数(千枚)		金額(百万円)		枚数(千枚)		金額(百万円)	
	アナログディスク	C D	アナログディスク	C D	アナログディスク	C D	アナログディスク	C D
2001	10	3,577	6	1,475	4,709	28,669	2,579	11,893
2002	32	973	14	1,332	3,901	29,744	2,371	11,815
2003	17	1,699	13	1,263	3,640	33,731	2,136	13,232
2004	31	2,309	54	1,280	3,277	32,904	1,903	12,428
2005	11	908	15	1,068	2,710	24,829	1,532	10,662

出典：財務省関税局「日本貿易統計」(通関実績)

### ●上期(1~6月)オーディオディスクレコード国別輸出入実績

数量:千枚、金額:百万円、( )内は対前年同期比

国 名		輸 出			輸 入		
		アナログディスク	C D	計	アナログディスク	C D	計
アメリカ	数量	3 (22)	299 (107)	302 (103)	1,446 (79)	4,709 (90)	6,155 (87)
	金額	3 (11)	346 (105)	349 (97)	783 (78)	3,783 (92)	4,566 (89)
イギリス	数量	2 (28)	19 (69)	21 (62)	675 (83)	2,697 (94)	3,372 (91)
	金額	3 (26)	26 (85)	29 (69)	470 (84)	2,047 (94)	2,517 (92)
ドイツ	数量	— —	36 (88)	36,400 (85)	179 (81)	2,034 (60)	2,213 (61)
	金額	— —	37 (90)	37,150 (88)	123 (84)	1,450 (109)	1,574 (107)
オランダ	数量	3 (171)	22 (10)	25 (11)	35 (72)	701 (81)	736 (81)
	金額	6 (156)	38 (47)	44 (52)	25 (70)	355 (70)	380 (70)
フランス	数量	1 (110)	26 (61)	27 (62)	53 (85)	459 (115)	512 (111)
	金額	1 (110)	43 (76)	44 (77)	40 (89)	320 (110)	359 (107)
イタリア	数量	— (84)	2 (46)	2 (47)	39 (50)	165 (74)	205 (68)
	金額	— (80)	2 (51)	3 (52)	29 (52)	112 (90)	141 (79)
オーストリア	数量	— —	60 (237)	60 (237)	2 (152)	159 (101)	162 (101)
	金額	— —	4 (83)	4 (83)	2 (147)	122 (102)	125 (103)
韓国	数量	— —	37 (49)	37 (49)	— —	1,976 (42)	1,976 (42)
	金額	— —	48 (54)	48 (54)	— —	485 (52)	485 (52)
台湾	数量	— —	98 (10)	98 (10)	— —	4,940 (76)	4,940 (76)
	金額	— —	94 (88)	94 (88)	— —	204 (43)	204 (43)
香港	数量	1 (42)	212 (44)	212 (44)	— —	3,510 (122)	3,510 (122)
	金額	— (46)	237 (83)	238 (83)	— —	824 (96)	824 (96)
シンガポール	数量	— —	19 (67)	19 (67)	— —	1,815 (85)	1,815 (85)
	金額	— —	74 (68)	74 (68)	— —	95 (53)	95 (53)
中国	数量	— —	13 (242)	13 (242)	— —	575 (29)	575 (29)
	金額	— —	11 (45)	11 (45)	— —	117 (44)	117 (44)
マレーシア	数量	— —	1 (10)	1 (10)	— —	74 (37)	74 (37)
	金額	— —	3 (12)	3 (12)	— —	47 (107)	47 (107)
タイ	数量	— —	1 (26)	1 (26)	— —	205 (83)	205 (83)
	金額	— —	6 (39)	6 (39)	— —	96 (54)	96 (54)
チェコ	数量	— —	— (725)	— (725)	138 (103)	105 (112)	243 (107)
	金額	— —	1 (446)	1 (446)	32 (99)	25 (109)	57 (103)
カナダ	数量	— —	13 (35)	13 (35)	3 (57)	188 (45)	191 (45)
	金額	— —	8 (56)	8 (56)	2 (101)	165 (43)	167 (43)
ブラジル	数量	— —	— (216)	— (216)	— —	114 (82)	114 (76)
	金額	— —	2 (431)	2 (431)	— —	95 (86)	95 (81)
オーストラリア	数量	1 (216)	8 (39)	9 (43)	— —	79 (105)	79 (105)
	金額	— (34)	11 (86)	11 (82)	— —	56 (103)	56 (102)
その他	数量	— (4)	41 (118)	41 (108)	139 (190)	322 (102)	453 (118)
	金額	1 (27)	77 (149)	78 (144)	26 (155)	263 (101)	286 (104)
合計	数量	11 (34)	908 (39)	919 (39)	2,710 (83)	24,829 (75)	27,539 (76)
	金額	15 (28)	1,068 (83)	1,083 (81)	1,532 (81)	10,662 (86)	12,194 (85)

(注) 1. 輸出入実績は、委託加工品(OEM)を含む。  
2. 数値は、四捨五入により内訳と合計が一致しない場合がある。

出典：財務省関税局「日本貿易統計」(通関実績)

# Gold Album +... 認定

2005年8月度

2005年発売の新譜では、2ミリオン1作品、ミリオン1作品、ダブルプラチナ4作品が認定されました。

## 邦楽

アルバム				
● 2ミリオン				
ケツノボリス4	ケツメイシ	2005.06.29	TF	
● ミリオン				
ケツノボリス3	ケツメイシ	2003.10.01	TF	
四次元 Four Dimensions	Mr.Children	2005.06.29	TF	
● ダブル・プラチナ				
SAMPLE BANG!	SMAP	2005.07.27	V	
● プラチナ				
交通安全漫談	綾小路きみまろ	2004.04.27	TE	
BEAT SPACE NINE	m-flo	2005.08.24	AVT	
BEGINシングル大全集	BEGIN	2005.02.23	TE	
グッジョブ!	RIP SLYME	2005.08.31	WJ	
● ゴールド				
One	嵐	2005.08.03	TO	
FUSE OF LOVE	倉木麻衣	2005.08.24	GZ	
single Best	day after tomorrow	2005.08.17	AVT	
GLAMOROUS SKY	NANA starring MIKA NAKASHIMA	2005.08.31	AI	
BEGINNINGS	HAWAIIAN 6	2005.08.06	PZ	
Here today-gone tomorrow	矢井田 瞳	2005.08.15	TO	

## シングル

● ダブル・プラチナ				
SCREAM	GLAY×EXILE	2005.07.20	AVT	
OCEAN	B'z	2005.08.10	BM	
● プラチナ				
キラキラ	aiko	2005.08.03	PC	
EXIT	EXILE	2005.08.24	AVT	
キズナ	ORANGE RANGE	2005.08.24	SR	
fairyland	浜崎あゆみ	2005.08.03	AVT	
プラネタリウム	BUMP OF CHICKEN	2005.07.21	TF	
東京	福山雅治	2005.08.17	UM	
● ゴールド				
届かない愛と知っタイタノ二抑エキレズニ愛シ続ケタ...	Gackt	2005.08.10	CR	
flower	倭田来未	2005.08.10	AVT	
世界はそれを愛と呼ぶんだぜ	サンボマスター	2005.08.03	SR	
vestigeーヴェスティージー	T.M. Revolution	2005.08.17	ES	
CLOSE YOUR EYES/YAMATO	長瀬 剛	2005.08.24	FL	
make a secret	BoA	2005.08.31	AVT	

## ビデオ

● ゴールド				
KinKi Kids Dome Tour 2004-2005 -Font De Anniversary	KinKi Kids	2005.08.03	JE	
CLUB CIRCUIT 2000 REALIVE -NO CUT-	L'Arc~en~Ciel	2001.06.20	KS	

## 洋楽

アルバム				
● ダブル・プラチナ				
DISCO-ZONE~恋のマイアヒ~	O-ZONE	2005.03.02	AVT	
● プラチナ				
モンキー・ビジネス	ブラック・アイド・ピーズ	2005.05.27	UM	
ハウ・トゥー・ディスマントル・アン・アトミック・ボム	U2	2004.11.17	UM	
● ゴールド				
バック・ホーム	ERIC CLAPTON	2005.08.31	WJ	
ガソリーナ	ダディ・ヤンキー	2005.05.11	UM	
UNKNOWN LANGUAGE	T.O.K.	2005.06.16	V	
MOST WANTED	Hilary Duff	2005.08.10	AVT	
パルーカヴィル	ファットボーイ・スリム	2004.09.29	SI	
イン・ユア・オナー	フー・ファイターズ	2005.06.15	BMG	
制服レイヴ・プレゼンツ・ブチアゲメトランス 2	VARIOUS	2005.03.25	V	
wannabe!	VARIOUS	2005.07.20	MH	
「オールイン」オリジナル・サウンドトラック	VARIOUS ARTISTS	2004.07.07	PC	
ベスト・ピアノ100	VARIOUS	2005.06.15	TO	

## ビデオ

● ゴールド				
マイ・ワールド~アヴリル・ラヴィーン・ライヴ	アヴリル・ラヴィーン	2003.11.12	BMG	



ケツノボリス4/  
ケツメイシ



ケツノボリス3/  
ケツメイシ



四次元 Four Dimensions/  
Mr.Children



SAMPLE BANG!/  
SMAP



DISCO-ZONE~  
恋のマイアヒ~O-ZONE



SCREAM/  
GLAY×EXILE



OCEAN/B'z

左上から右へ、2ミリオン、ミリオンのアルバム、  
ダブル・プラチナのアルバム/シングルの順。

※ダブル・プラチナ(50万枚)以上の認定を受けた作品の  
ジャケット写真を紹介します。

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/AVT:エイ  
ベックス・エンタテインメント/BG:ビーグラムレコーズ/BM:  
バーミリオンレコード/BMG:BMGファンハウス/C:コロムビ  
アマミュージックエンタテインメント/CR:日本クラウン/DF:  
デフスターレコーズ/DRM:ドリーミュージック/EP:アップフロ  
ントワークス(ゼティマレーベル)/ES:EPICレコードジャパ  
ン/FL:フォーライフミュージックエンタテイメント/GN:ジェネ  
オン エンタテインメント/GZ:ギザ/JA:ジェイ・ストーム/  
JE:ジャニーズ・エンタテイメント/JK:ユナイテッド・アジアエ  
ンタテイメント/K:キングレコード/KS:キューンレコード/  
MC:ミュージチャー・コミュニケーションズ/MH:ソニー・ミュ  
ージックダイレクト/ON:ビーヴィジョン/PAR:プライエイド/  
レコーズ/PC:ポニーキャニオン/PK:ピッコロタウン/  
PZ:ピザ・オブ・デス・レコーズ/QQ:バムビーチ/RR:ロード  
ランナー・ジャパン/SE:エスエムイーレコーズ/SI:ソニー・ミュ  
ージックジャパンインターナショナル/SN:SENHA & CO./  
SR:ソニー・ミュージックレコーズ/SV:アニプレックス/  
TE:テイチクエンタテインメント/TF:トイズファクトリー/  
TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO:東芝EMI/  
UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクターエンタテインメント/  
WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/XL:アンリミテッドグループ/  
YR:アール・アンド・シー

## 協会からのお知らせ

Topics & Informationでご紹介したとおり、10月28日からインターネットを利用した「レコードファン感謝祭2005 ～廃盤CD特別謝恩セール～」が開催されます。10月12日からは、告知サイト(<http://fair.jmd.ne.jp>)にて事前の商品閲覧とユーザー登録が可能です。



**Respect**  
our **MUSIC**

THE RECORD No.551 2005年10月号  
社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 佐藤 修  
編集人 田辺 攻  
発行日 2005年10月10日  
発行 社団法人 日本レコード協会  
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F  
TEL. 03-6406-0510(代) FAX. 03-6406-0520(代)  
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

### 編集後記

若年層を対象とした広報活動は当協会の大切な事業のひとつです。1人でも多くの若い方にレコード産業を好きになってもらい、次代のレコード産業を担う人材の育成と将来に向けたレコードマーケットの活性化につなげていければと考えています。

(S)

**R100**

古紙配合率100%再生紙を使用しています